

**デジタル時代の著作権協議会  
平成22年度第4回著作権ビジネス研究会 議事要旨**

日時：平成23年1月17日（月）14：00～15：35

場所：著作権情報センター（GRIC）会議室

議題1：（講演）「電子出版制作・流通協議会の活動と、電子出版物を適切に制作、配信するための著作権の課題について」

議題2：アンケート「著作権・著作隣接権管理に関する保有情報」・「権利情報の共有化における著作者・実演家の氏名表示等に関するガイドラインへの対応」（平成22年12月実施）の集計結果等について

議題3：その他

議長：本研究会主査・菅原瑞夫

記

**議題1：（講演）「電子出版制作・流通協議会の活動と、電子出版物を適切に制作、配信するための著作権の課題について」**

電子出版制作・流通協議会に参画している凸版印刷株式会社情報コミュニケーション事業本部販促部長谷川智信氏から講演を賜った。

配布資料にのっとり、まず、電子出版出現後の状況について、出版業界の市場の落ち込み、電子メディアの市場拡大、今後の予測を数字にて説明がなされ、日進月歩の電子出版の形態、ビジネス形態、検索サービスなどについて、多くの内外の事例をまじえ言及がなされた。

このような状況下で「電子出版制作・流通協議会」が設立に至った背景・設立目的をわかりに、協議会がとりまとめ役として現在取り込んでいる検討課題、今後の展望などについて説明がつづいた。

電子出版が流通する際の著作権処理については、出版業界の流通構造の激変に伴う問題点が、従来との違いを見据えつつ、侵害の事例などが数多く述べられ、米国と比較しながら、契約や処理ルールの確立、権利侵害対策など課題山積の現状に言及された。

講演を聴取した参加者からは、出版業界が経験したことのない新分野における、早急な著作権処理ルールの確立の必要性などが語られた。

**議題2：アンケート「著作権・著作隣接権管理に関する保有情報」・「権利情報の共有化における著作者・実演家の氏名表示等に関するガイドラインへの対応」（平成22年12月実施）の集計結果等について**

事務局から、アンケート実施に至る経緯、回答状況概略を簡単に報告した。研究会開催直前に一団体から回答内容の修正が寄せられたが、今回の配付資料には反映させる時間がなかったことから、今回は中間報告にとどめ、さらなる報告は次回に持ち越すことになった。

**議題3：その他**

議長から、次回の研究会（本年度最後）は3月14日（第2月曜日）に開催することが告げられた。

以上